

# ヨリソウカタチ

～特集～

刷新！ 広報誌「ヨリソウカタチ」に込めた思い

- ・巻頭言
- ・特集～ヨリソウカタチに込めた思い～
- ・活動の様子  
特養・ショートステイ・デイサービス・リハビリ・栄養
- ・科学的介護“LIFE” 介護ロボットってなに？
- ・編集後記

りゅうきんか  
**vol.1**  
～Renewal～

## ～巻頭言～

### 「ヨリソウウカタチ」 発刊にあたり、理念に込めた想い。

開設から早十年が過ぎ、慣れ合いの中で過ぎ去る時刻(とき)を止め、今一度、原点復帰への意味を込めまして、施設理念がどのような想いで生まれたのか回顧録として記してみたいと思います。

理念を掲げる上での大きなテーマは「愛」でした。

国語的には「愛」の対義語は「憎」となります。しかし「愛」の対義語は「無関心」という有名な言葉があります。私の尊敬するマザーテレサ女史の言葉です。

以前何かで読んだ本では「LOVE」という言葉が日本に初めて入ってきたときには「大切」と訳されたそうです。「この二つの言葉は、私にはとてもしっくりくるものでした。「愛」大切に思う」という考え方と相通ずるようにも思えるからです。もちろん国語的に考えれば「無関心」の対義語は「関心がある」ということになります。そう考えると「愛する」ということは、その対象へ関心を持つということになるのではないかとずっと心の中に思ってきました。

「家族の「愛」大切に思う」「関心を持つ」対象者は、間違いなく「両親である」と思います。その大切にされている「両親をお預かりしている」という気持ちを持ち続けなければなりません。しかし単にお預かりするだけでなく、「両親のこれからの「人生」を私達に託されている」という強い使命感を持って、お一人おひとりに向き合って「大切に・関心を持って」いくことが重要ではないか。

そんな想いを具現化する理念にしようと、「寄り添い」「ゆっくり」「楽しく暮らす」という灯りを燈しました。その灯りを頼りにこれまでも、そしてこれからも……

## 理念

これまで、  
そしてこれから



施設長  
権頭 重賢

## 寄り添い

『寄り添う』とは、傍らにいただけでなく、心と心が通うことだと考えます。信頼関係が結ばれてこそ初めて存在する言葉と思います。  
りゆうきんかは、そんな寄り添いを実現します。

## ゆ

『ゆっくり』とは、「利用者一人ひとりのペースのもとで、その人らしく安心して穏やかに暮らすことができる」ということではないでしょうか。  
りゆうきんかは、ゆっくり過ごせるそんな環境を提供します。

## 楽しく暮らす

『楽しく暮らす』とは、楽しみ方はそれぞれ、「利用者への一律のプログラムを廃止して、その人らしさに応じた楽しみを尊重します」。  
りゆうきんかは、そんな暮らしをサポートします。

# ～特集～

## 「理念、そしてこれからの想い」 ～刷新！「ヨリソウカタチ」に込めた想い～



### りゆうきんか



「理念」はサービス提供する我々の道しるべでもある。この理念がこれまで、そしてこれからの未来も、どんなに暗くなつた道でも、照らし導いてくれる光となる。引き続き職員のあるべき姿で、これからも皆様のために努めていきたい。

### 寄り添い、ゆっくり、楽しく暮らす



「寄り添い、ゆっくり、楽しく暮らす」 りゆうきんかの施設理念である。この理念から、広報誌「ヨリソウカタチ」に込められた想いを紹介したい。

私だつたら、私の事を考えてくれる人からお世話してほしいし、手伝ってほしい。誰でもそう思うはずである。身体が動きにくく、思うようにいかなくなり、気持ちが悪くなりつつある中で、本当に寄り添って、私のペースで楽しく過ごせる工夫を少しでも考えてくれる人に巡り合えれば本当に嬉しいし、本当に感謝したいものである。

りゆうきんかはそんな一人一人の想いに寄り添い、耳を傾け、その人らしく生きがいのある生活を送って頂きたい。そんな思いが込められている。技術や適性なども、もちろん大切ではあるが、その「想い」こそがこの仕事には必要なのである。そんな意識や思いが溢れ出すような施設でありたいし、この新たな広報誌に込め、改めて届けたい。

#### 楽しく暮らす

楽しみは人それぞれ、楽しみを尊重する

それぞれの楽しみや生きがいを知る

個別的に関わりその方の能力を最大限に引き出せる

## 想像・創造力

大切なのは、

- ①自分が楽しむ
- ②動くことが好き
- ③経験を多くし、感性を高める
- ④いつものないことを経験する
- ⑤真似でも行動してみる

#### ゆっくり

ひとり一人のペース、安心・穏やかに暮らす

様々なペースを理解、穏やかな暮らし

速さに着目するだけではなく、心情に働きかける

## 平穏力

大切なのは、

- ①ご利用者様を知る
- ②生活だけではなく、人生を観る
- ③習慣性が癒しとなる
- ④メモを取りじっくり考える
- ⑤些細なことに幸せを見出す

#### 寄り添い

傍にいてのではない、心と心が通う

心を通わせる力が必要

人の気持ちを汲む

## 共感力

大切なのは、

- ①他人への好奇心がある
- ②感じたものを表現する
- ③観察しているだけで、その人が何を感じているかわかる
- ④共通点を見つけることができる
- ⑤周囲に訴える力をつける

# 壹番街



## 散歩

午後からの日差しが温かい時間に、東免田駅までの散歩に行きました。球磨川鉄道沿線の運行開始により、列を間近に見ることができました。

## みんなで脳トレ



毎日、午前中に塗り絵やパズル、豆移し等を自身で選び、活動に取り組まれています。豆移しが上手にできるようになった方は、スプーン使用から箸の使用ができるようになられた方もおられ、スタッフも驚いています。

## 誕生日

ご家族から、手紙と誕生日プレゼントが届きました。お母様の愛情が溢れていました。

元気にしとってね  
お母様



## 今からドライブ



昨年の9月以降は、全国的に感染者数の減少もあって、ドライブに出かけました。景色を見て、おしゃべりを楽しみました。

# 貳番街

## 苺の受粉作業



イチゴの花が咲き始め、受粉作業を行いました。興味深い作業です。参加した皆さんは、美味しくイチゴを食べました。美味しくいただきます。

## クリスマス会



利用者様と職員のみでクリスマス会を行いました。ケーキとサンタからのプレゼントに、感激のあまり涙される方も。クリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。

## 散歩



「今日はよか天気なあー、ここは駅の近くたい」と話され、外の空気を喜んでおられた。心地よい天候なかで話も弾みました。自然のパワーをいただいで、皆様、良い表情で過ごされていました。

次はなんぼのせよかなあ、久しぶりに作ったから上手い出される場面も、昔を思い出さる



## ケーキ作り

# 参番街

## 紅葉見学



錦の新宮寺までドライブ。久しぶりの外出に皆さん大喜びでした。

## クリスマスケーキ作り



生クリームに沢山のフルーツを盛り付けて美味しそうなケーキの完成です。

## 餅丸め

「昔はぎゃんして丸めたもんな」  
皆さん手は覚えておられます。手際よく丸めて頂きました。



## 正月お節

正月気分を味わって頂きたく、栄養科が腕をふるって準備しました。



# ショートステイ（短期入所）伍番街

## 紅葉狩り

お泊り中も、外出や季節の行事を楽しんで頂いております。



## 敬老会でビンゴ大会

ビンゴ揃いました～

景品もあり大盛り上がりでした。



## 初詣in熊野神社

今年も健康に過ごせますように



## クリスマスケーキ作り



「包丁使いも慣れたもんでしょう」美味しいケーキを皆で頂きました。



# 農福連携

農福連携とは、ご高齢の方や障害をもたれた方々が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みです。



今年も施設敷地内のビニールハウスでイチゴの栽培を行っています。

「定植」から「水やり」「授粉」「収穫」など様々な工程を皆様と一緒にを行っています。



リハビリデイサービスりゅうきんかでは、新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながら、コロナ禍でも楽しみながらできる活動を提供していきたいと考えています。

# リハビリ デイサービス

## クリスマスメニュー作り



より楽しく  
より元気に  
より自分らしく

初詣

## 門松作り



年明けに築地熊野神社へ初詣に行きました。砂利道にも負けず、無事境内へ到着できました。今年も元気に過ごせますように！

お一人お一人が充実した生活を送って  
頂けるように日々の生活の中でリハビ  
リを提供しています。

# 特養施設での リハビリ テーション

## 歩行訓練



ご自分の部屋  
に戻るのも  
リハビリにな  
ります。



ご自身でできる事  
や「自分らしさ」  
がとても大切です

## 食事動作訓練



今できている動作をいつまでも続け  
られるように。いつまでも自分らし  
い生活が送れるように。

# 栄養・調理

## クリスマスメニュー



### ★クリスマスメニュー

#### & ケーキ作り

クリスマスでは、午後から各番街で  
クリスマスケーキ作りをしました。  
初めてケーキ作りをすると言われる  
方もいらっしゃいましたが、とてもキ  
レイに飾り付けして頂きました。

12月24日

### ★おせち料理

おせちをご提供させて  
頂きました。

1月1日



## おせち料理



# 科学的介護とは？

厚生労働省では、平成 28 年度より通所・訪問リハビリテーションデータ収集システム（VISIT）、令和 2 年 5 月より科学的介護データベース（CHASE）の運用を開始。令和 3 年 4 月より、これらの一体的な運用を開始するとともに、科学的介護の理解と浸透を図る観点から、名称を「科学的介護情報システム（Long-term care Information system For Evidence; LIFE ライフ）」としました。



PDCAサイクル推進のイメージ

今後令和 3 年度介護報酬改定においては、施設系サービス（介護療養型医療施設を除く）、通所系サービス、多機能系サービス、居住系サービスに LIFE へのデータ提出とフィードバックの活用による PDCA サイクルの推進とケアの質向上が推奨され、それに伴い対応する事業所には「科学的介護推進体制加算」が算定されることとなりました。



LIFE が本格的に稼働すれば、介護分野のエビデンスが構築され科学的裏付けに基づいた介護が可能になります。自立支援に資するサービス提供や、重度化防止の予測、介護現場の負担軽減（効率化）、といったメリットを見込まれています。

【資料※】 LIFE 情報の収集・活用と PDCA サイクルの推進

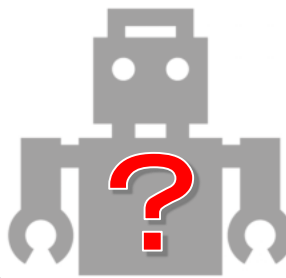
りゅうきんかでは、令和 3 年度より LIFE システムデータ提出を行っております。

またそれと同時にご利用者の経過記録や計画は全てデジタル化へ移行致しました。

全職種の記録は全てタブレット記入や音声入力等で記載できるよう ICT 化されています。

## りゅうきんかは 介護ロボット導入しています！

厚生労働省が示している「ロボットの定義」を満たしたうえで「ロボット技術が応用され利用者の自立支援や介護者の負担軽減に役立つ介護機器」を介護ロボットと呼んでいます。



## 介護ロボットって何！？

## どんなロボット？？

ロボットと聞いて、誰もが思い浮かべるのは二足歩行の「人型ロボット」ではないでしょうか？

はたして介護ロボットとはいったい何か！？  
近未来の介護の姿となるのか！？

次号は「特集」介護ロボットについてご紹介！

## 編集後記

令和 4 年 2 月 25 日

広報誌「ヨリソウカタチ」をご覧いただき、ありがとうございます。  
今回広報誌「ヨリソウカタチ」として新たに刷新（リニューアル）させていただきました。この「ヨリソウカタチ」は、理念や施設の想いを形にしたい。そんな想いから名付けました。少しでも想いに触れていただけると嬉しいです。

現在も新型コロナウイルスの感染が収まりません。変異し更に拡大・飛散しております。まだまだ以前のようなお出掛けなどできませんが、まずは施設内でできる些細な事を大切に、職員一同全員で取り組んで参ります。そして一日でも早く収束し、自由な生活ができるようになる事を願って！これからもどうぞよろしくお願い致します。

広報委員会（大森・井上・畠山・権頭）

- 地域密着型介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護（ショートステイ）
- 通所介護（リハビリデイサービス）
- 居宅介護支援事業所

発行元：社会福祉法人東陽会

発行責任者：権頭 重賢

編集：広報委員会